

ビルクリーニング B			
参加対象障害者	身体障害者・知的障害者・精神障害者	募集人員	14名
競技内容	模擬事務室において弾性床清掃及び机上清掃を行う。資機材の適切な持ち方と安全な使い方、確実な清掃技能、サービス業としてのマナー等が求められる。		
課題と競技の進め方	<p>【競技課題】 ＜弾性床清掃及び机上清掃＞ 箒・モップ・タオル等にて弾性床（塩化ビニル系）の掃き・拭き、机上拭き作業等を行う。</p> <p>【競技の進め方】 ＜弾性床清掃及び机上清掃＞ ① 資機材の確認・準備（作業に必要な資機材は作業カートに搭載されている） ② 作業開始 ③ 表示板の掲示 ④ 入室の挨拶 ⑤ 椅子と屑入れ上げ ⑥ 掃き作業（乾式モップ） ⑦ 拭き作業（湿式モップ） ⑧ 椅子と屑入れ下ろし ⑨ 机上拭き ⑩ 点検 ⑪ 退室の挨拶 ⑫ 片付け ⑬ 作業終了</p> <p>※作業開始の指示は審査員が行う。「始めます」「終わりました」の申告は、競技者自身が行うこと。</p>		
装備等（持参物）	<p>資機材は会場に装備されているものを使用すること。</p> <p>装備品： 作業カート×1台、作業標示板×1個、乾式モップ柄（ヘッド幅63cm）×1本、 乾式モップ布（69cm幅不織布）×1枚、湿式モップ柄（ワンタッチアルミハンドル）×1本、 湿式モップ房×1枚、箒（30cm幅）×1本、文化ちり取り×1個、ポリ袋（20ℓ）×1枚</p> <p>持参物： 作業着（上下）・作業帽・作業靴・課題用タオル2枚（白色無地・木綿製）を持参すること（同一種類のものを予備として持参することは差し支えない）。</p>		
競技時間	一人の競技時間 10分 （※規定時間を過ぎても、打ち切りの合図があるまで作業は継続させること。）		
注意事項他	<p>① 使用する資機材は、会場に装備されたもの以外は使用できない。</p> <p>② 作業面積は16㎡（4m×4m）。幅木枠の上には壁があるものとして作業を行うこと。</p> <p>③ 机は移動させないこと。</p> <p>④ 床のゴミは「おがくず」とする（50ml程度）。</p>		
課題の事前公開 （または練習課題の提供）	事前公開する。 また、希望者には、競技要領を提供する。併せて、参加予定者は群馬県ビルメンテナンス協会による練習会に参加できる。		

第24回群馬県障害者技能競技大会
(ぐんまアビリンピック2026)

ビルクリーニング競技

競技概要説明書

1 競技概要

(1) 競技の概要・目的等

この「ビルクリーニング競技」は、模擬事務室内における、清掃技能を競う競技です。

ビルクリーニングA競技では、「弾性床清掃及び机上清掃」「カーペット床清掃」を、ビルクリーニングB競技では「弾性床清掃及び机上清掃」を実施します。

清掃作業過程における、適切な資機材の使用、安全面への配慮、作業の正確さと丁寧さが求められます。また、作業スピードも必要となります。

(2) 競技時間（1人あたり）

カーペット床清掃	7分
弾性床清掃及び机上清掃	10分

(3) 注意事項

- ①使用する資機材は、支給されたものに限る。
- ②作業に適した服装としてください。
- ③作業開始の指示は、競技委員が行います。
- ④作業ごとに、入退室を行う際には会釈（軽く挨拶や礼）をしてください。
- ⑤作業面積は16㎡（4m×4m）とし、幅木により区画します。
幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。
- ⑥作業場所にある机は、移動させないでください。
- ⑦使用した資機材は、指定された場所へ片づけてください。

(4) 仕様

《弾性床清掃及び机上清掃》

- ①床のゴミは、「おがくず」とし、約50ml程度まいたものとします。
- ②乾式モップ用クロスは、競技者が作業前に取り付けて点検してください。

《カーペット床清掃》

- ①床のゴミは、「シュレッダー裁断紙」とし、約50ml程度まいたものとします。

2 作業仕様

(1) カーペット床清掃

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	作業に必要な資機材は、すでに会場に準備されている。	資機材が過不足なく準備されているか点検し、異常があれば申し出る。	資機材の点検終了後、競技スタッフの指示に従い、所定の位置に立つ。
競技開始	競技委員の合図で所定の位置に立ち、「始めます」と挨拶し開始する。		
作業準備	真空掃除機を保管場所から作業場所の近くへ移動し、コードをはずし、プラグをコンセントに差込み、始動点検を行う。	吸い込み口に手をあて、風量があるか点検する。	
入室の挨拶	入口にて、室内に向かい入室の挨拶を行う。		
除塵 (真空掃除機)	<ul style="list-style-type: none">① 真空掃除機を使用し、外から入り口を吸塵した後、作業場所へ入る。② 入り口より奥に向かって右幅木側・中央部・机の下へと順に作業を行う。③ ゴミ箱を移動して吸塵する。④ いすを手前に引き出し、机の下の吸塵を行い、元にもどす。⑤ 前進しながら吸塵作業をする。⑥ 作業が終了したら掃除機を室内より出してプラグを抜く	<p>ゴミを踏まないように広めに足場を確保する。 吸い込み口を床に強く打ちつけない。 本体は手で持って移動する。</p> <p>プラグを持って抜く。</p>	掃除機のコードをもって抜かない。
点検	指差し及び目視点検を行う。	ゴミの取り残しがないか点検を行い、あれば処置する。	
退室の挨拶	出口にて室内に向かって退室の挨拶を行う。		
資機材の片付け	掃除機のコードを巻いて、掃除機を保管場所に戻す。		
終了挨拶	所定の位置に立ち、終了挨拶を行う。		

2 作業仕様

(2) 弾性床清掃及び机上清掃①

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	作業に必要な資機材は、すでに会場に準備されている。	資機材が過不足なく準備されているか点検し、異常があれば申し出る。	資機材の点検終了後、競技スタッフの指示に従い、所定の位置に立つ。
競技開始	競技委員の合図で所定の位置に立ち、「始めます」と挨拶し開始する。		
作業準備	①作業カートを保管場所から移動させる ②作業表示板を立てる。	所定の位置に作業指示板を立てる。	
入室の挨拶	入口にて、室内に向かい入室の挨拶を行う。		
イス上げとゴミ処理	①作業前にイスを机の上にあげる。 ②ゴミをゴミ袋ごと処理する。 ③新しいゴミ袋をゴミ箱にセットする。 ④ゴミ箱を机の上に上げる。	机は動かさない。 イスは机からはみ出さないようにする。 ビニール袋を正しくセットする。	
除塵作業 (掃き作業)	①乾式モップヘッドを柄に装着し、外から入口を除塵し作業場所に入る。 ②入り口より奥に向かって右幅木側・幅木側・机の下・中央部へと順に作業を行う。 ③前進しながら出口に向かって1箇所を集める。 ④ヘッドを柄から外す。 ⑤使用済みのダスタークロスを手でヘッドから外す。 ⑥柄とヘッドをカートに戻す。 ⑦小ぼうきと文化ちり取りを持って集めたゴミをとる。 ⑧ゴミの取り残しがないか点検する。 ⑨小ぼうき、文化ちり取りをカートに収める。	ゴミを踏まないように足場を確保する。 ヘッドの辺は広い方を先行させる(赤印をつけてある)。 ヘッドを床から離さない。 使用済みクロスは カートの袋の中に入れる。 ヘッドは、カート上部の所定の位置に置く。 ヘッドはスポンジ面を上にして置く。 ゴミの取り残しがあれば小ぼうきと文化ちり取りでゴミを取り除く。	
水拭き(モップ)	①コート全面積を拭く。 ②幅木側、机の下、中央部の順に拭く。 ③コーナー周りとの足の元は房糸に手を添えて拭く。 ④モップは時々裏返し、モップ全体を使って拭く。 ⑤モップは横拭きとし、後退しながら拭く。	拭き残し、拭きむらのないようにする。 横拭きは柄の先端に親指を添えるのを基本とする。 幅木、机の脚部に触れないようにする。 拭いたところを踏まないようにする。	

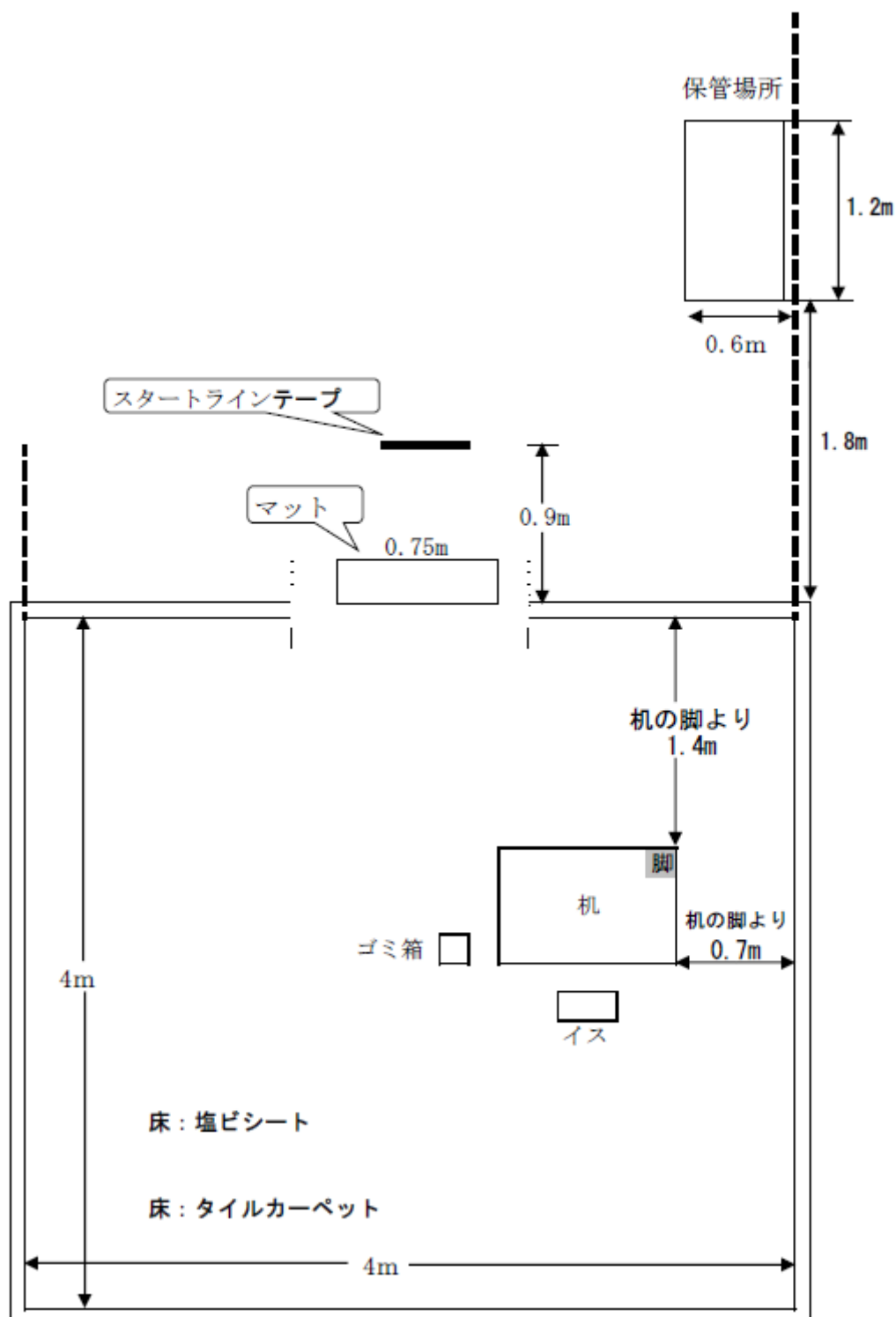
2 作業仕様

(2) 弾性床清掃及び机上清掃②

作業工程	作業方法	補足事項	備考
ゴミ箱とイスを下ろす	安全に音を立てないように下ろす	足の上に落とさないように注意する。	
机上拭き	①青色のタオルを八折にして持つ。 ②机の縁を含めて、四隅から中央へ行う。 ③タオルが汚れたらきれいな面を出して拭く。 ④横拭き・縦拭きを行う。 ⑤机の上を水拭きした後に白色のタオルでから拭きを行う。 ⑥水拭きと同様に作業を行う。	拭き残し、拭きむらのないようにする。	
点検	指さし及び目視点検を行う。	資機材の忘れ、ゴミの取り残しなどの点検を行う。	
退室の挨拶	出口にて室内に向かって退室の挨拶を行う。		
資機材の片付け	作業標示板を作業カートに収納し、作業カートを所定の位置に戻す。		
終了挨拶	所定の位置に立ち、終了挨拶を行う。		

3 参考資料

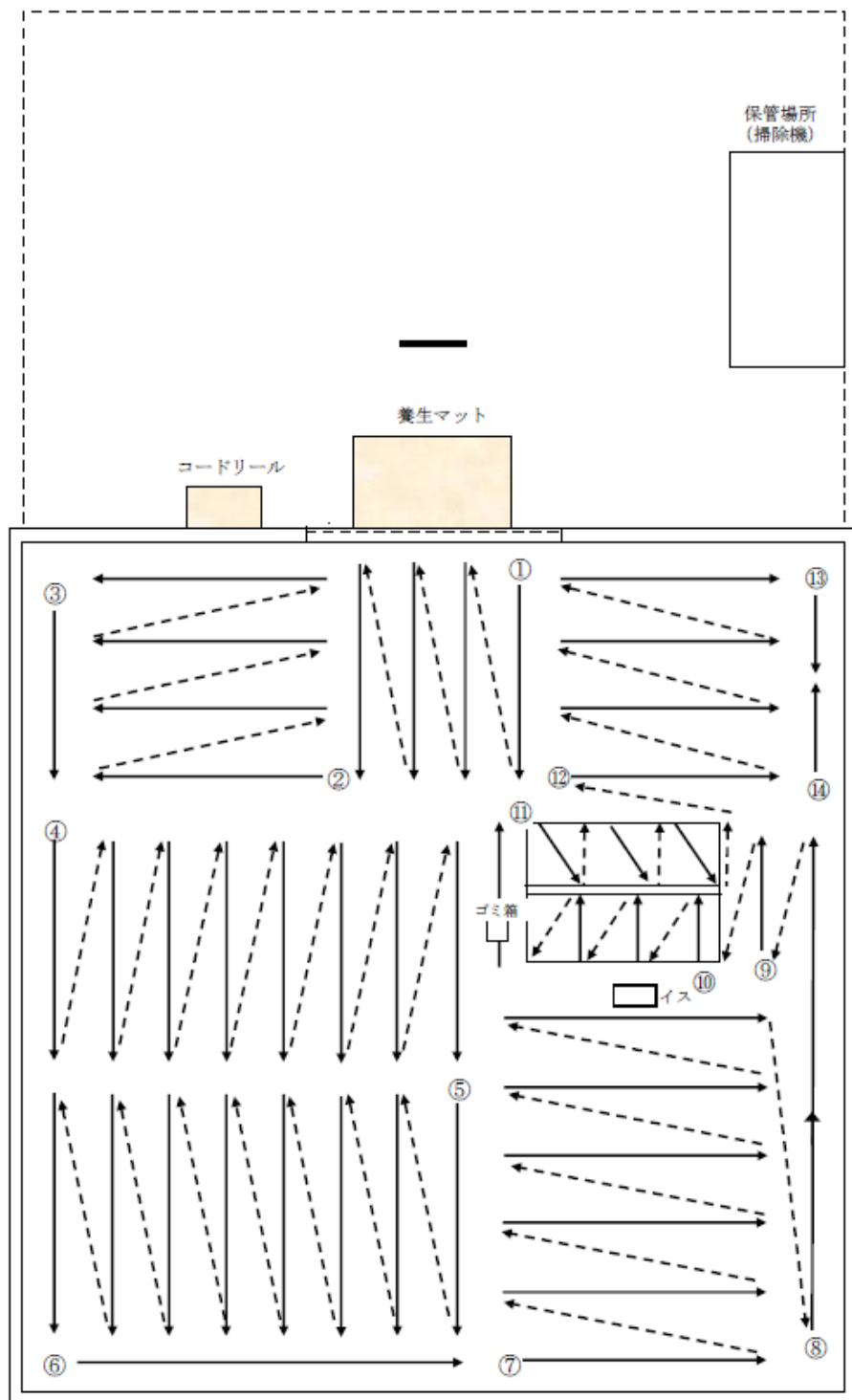
(1) 標準配置図（モデル）



注 上図は、全国障害者技能競技大会における標準配置図であり、群馬県大会における実際の競技環境とは異なる場合があります。

3 参考資料

(2) カーペット床作業手順



注：作業の進行①～⑭

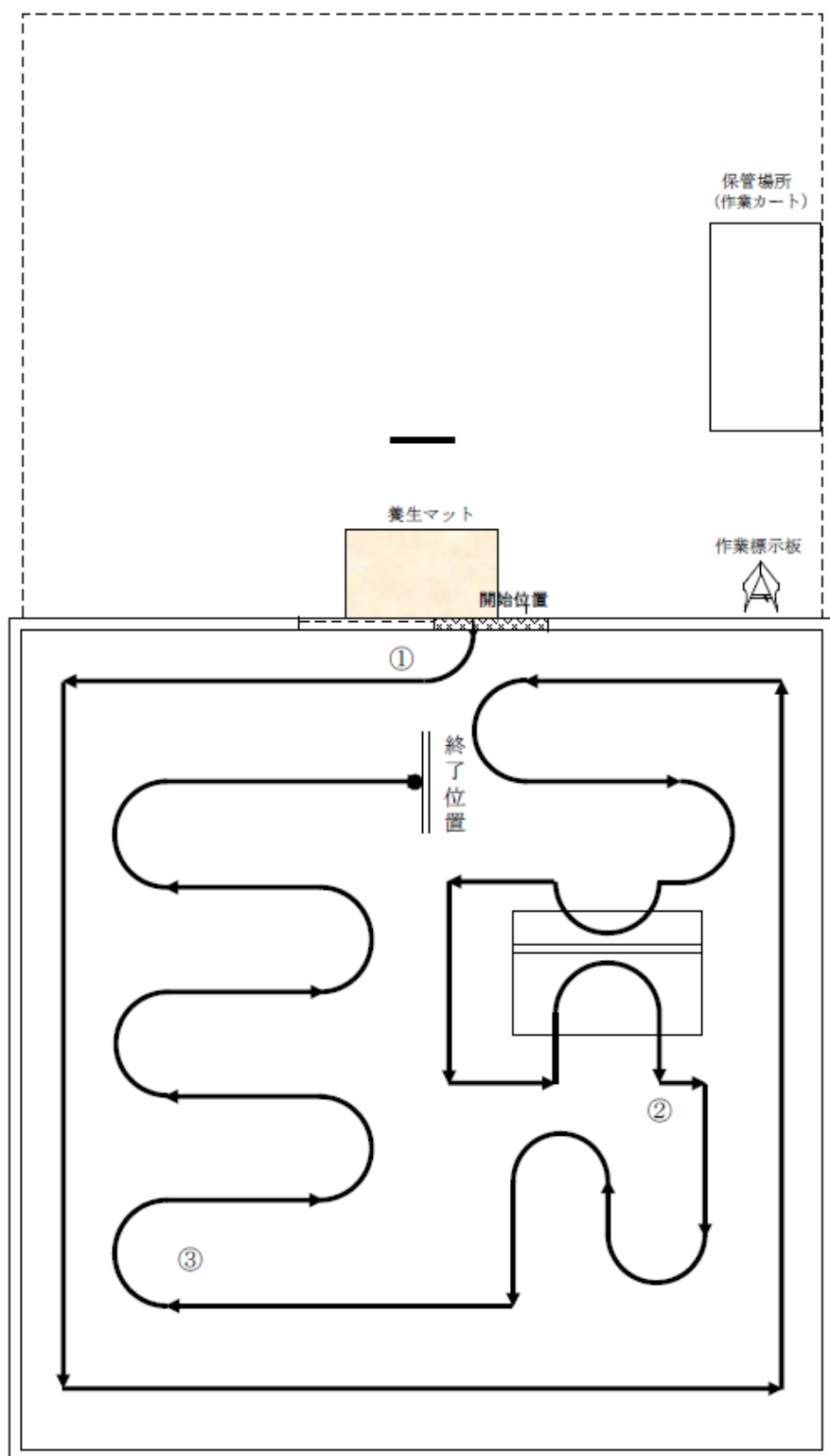
吸引回数を入れたものではありません。

①の作業を一回の工程でできない場合は、真ん中で二度に分けても構いません。

ゴミ箱の下を作業する際は、ゴミ箱を移動し、確実に吸引する。

3 参考資料

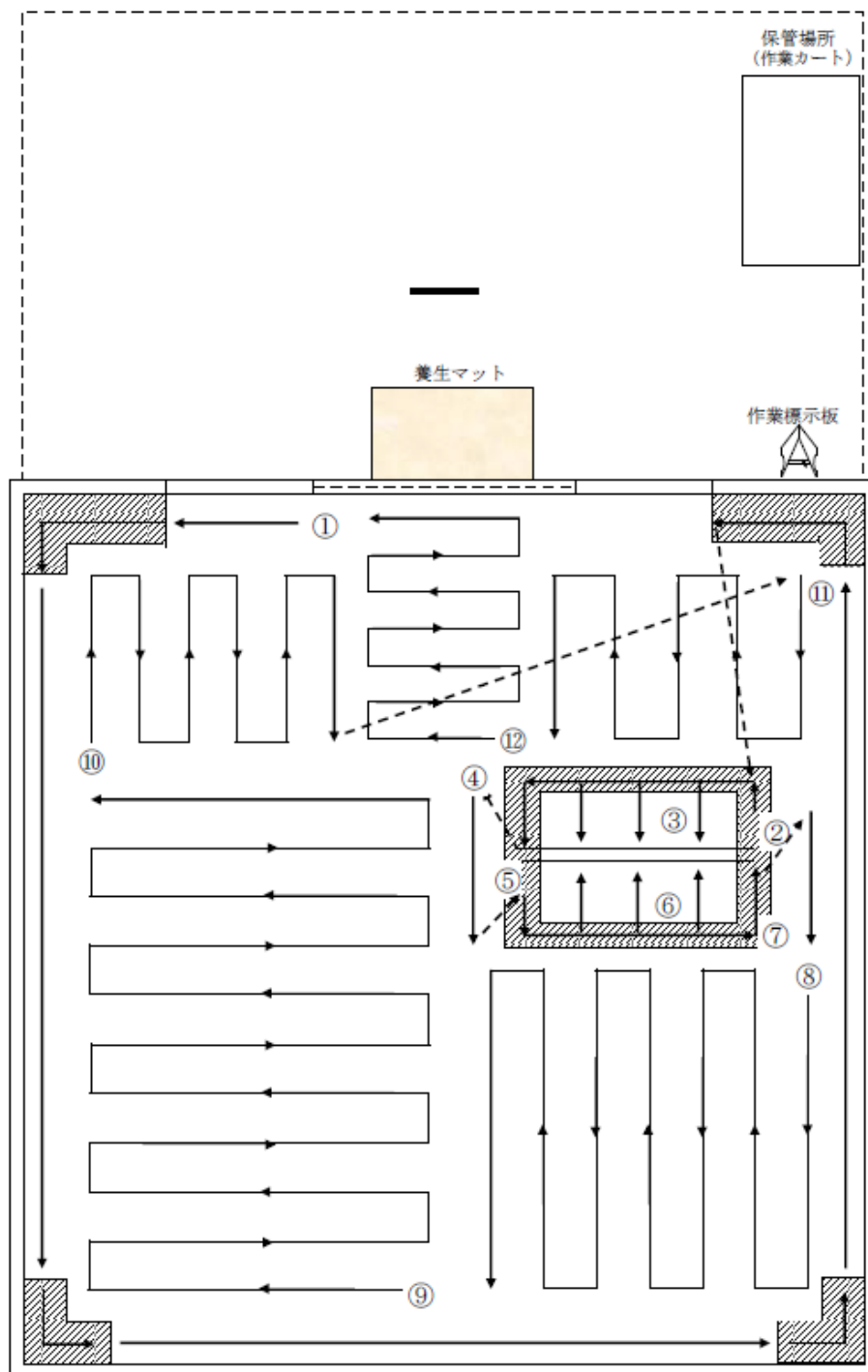
(3) 乾式モップ作業手順



注：乾式モップヘッドを振る回数ではありません。

3 参考資料

(4) 水ぶきモップ作業手順



注：■印は、手を添える箇所を示す。

水拭き回数を入れたものではありません。

①幅木側を一周すること。（コーナーは手を添えます）

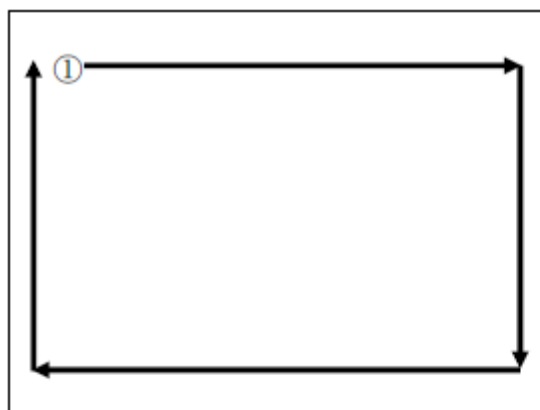
②～③机の足回りを拭き、机の下を拭く。（足回りについては手を添えて）

⑤～⑥反対側の机の足回りを拭き、机の下を拭く。（足回りについては手を添えて）

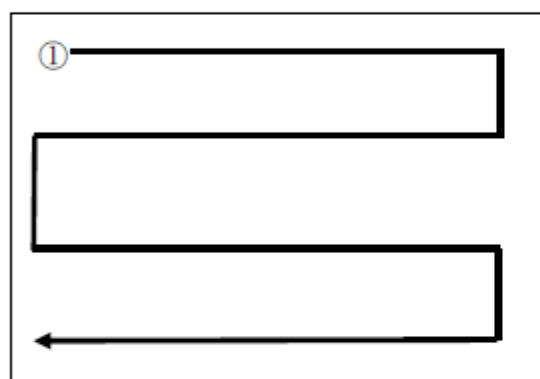
⑧～⑩スパンを決めて拭き上げる。

3 参考資料

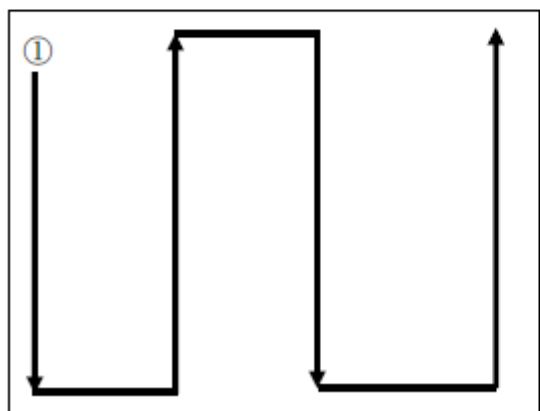
(5) 机上拭き作業手順



①四角く、縁にそって拭きます。
(その際、テーブル、机の縁も拭きます。)



②横拭き：拭いていない中面を左右に拭きます。
(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、左右の動きにより、往復の回数が異なります。)



③縦拭き：拭き残しがないように中面を上下に拭きます。
(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、上下の動きにより往復回数は、異なります。)

④から拭きも同じように行います。

注：作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。左手で持つ人の場合は、左右を逆として構いません。